

道徳教育全体計画

児童の実態		学校教育目標	関係法規・教育方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・明朗で素直である。 ・外で元気よく遊ぶ児童が多い。 ・深く考え、判断し、実践しようとする力の育成が必要である。 		関わり合いながら進んで学ぶ、人間性豊かな「かどわきっ子」の育成（めざす児童像） <ul style="list-style-type: none"> ○やさしく（共感できる子ども） ○かしこく（考動できる子ども） ○たましく（心も体も元気な子ども） 			
道徳教育の目標					
<p>○自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。</p>					
道徳教育における全学年共通した重点目標					
<p>◎互いを認め合い、学習活動や生活の様々な場面を通して理解し合い、協力し、助け合い、信頼感や友情を育む。【友情、信頼】</p> <p>◎自己との関わりで、生きることのすばらしさや生きているもの全ての生命の尊さについて考えを深める。【生命の尊さ】</p>					
各教科等		特別の教科道徳			
国語	伝え合う力を高め、思考力や想像力を養い、言語感覺を豊かにすることを通して道徳的心情や道徳的判断力を養う。	<p>よりよく生きるために基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方にについての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。</p>			
社会	地域及び我が国の国土と歴史への理解や多角的な思考を通して、我が國や郷土を愛する心を育てるとともに、公的資質の基礎的な形成を通して、集団や社会の一員としての自覚を高める。	各学年の重目標			
算数	日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力の育成を通して道徳的な判断力を養うとともに、数理的処理や活動を通して、工夫して生活や学習をしようとする態度を育てる。	低学年	中学年	高学年	
理科	栽培や飼育などの体験活動を通して生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を育てる。観察、実験を通して、道徳的判断力や真理を大切にしようとする態度を育てる。	①友達と仲よくし、助け合うこと。【友情、信頼】 ②生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。【生命の尊さ】 ③自分の特徴に気付くこと。【個性の伸長】	①友達と一緒に理解し、信頼し、助け合うこと。【友情、信頼】 ②生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること。【生命の尊さ】 ③正しいと判断したことは、自信もって行うこと。【善悪の判断、自律、自由と責任】	①友達と一緒に信頼し、学び合って友情を深め、異性について理解しながら、人間関係を樂いていくこと。【友情、信頼】 ②自分が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。【生命の尊さ】 ③誠実に、明るい心で生活すること。【自主、自律、自由と責任】	
生活	具体的な活動や体験を通して、自然との関わりに关心をもつとともに生活上必要な習慣を身に付け、自立し生活を豊かにする基盤を養う。	指導方針			
音楽	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情や感性を育むとともに音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培うことで、道徳性の基盤を養う。	<p>○道徳科を要として、学校の教育活動全体を通して行う。</p> <p>○道徳性を養うために行う道徳科の学習活動</p> <p>○道徳的諸価値について理解する</p> <p>・倫理理解→内容項目を、人間としてよりよく生きる上の大切さを伴って理解すること ・人間理解→道徳的価値は大切であってもなかなか実現することができない人間の弱さなども理解すること ・他者理解→道徳的価値を実現したり、実現できなかつたりする場合の感じ方、考え方は一つでない、多様であるということを前提として理解すること</p> <p>②自己を見つめる（自己理解） *自分として考えられるような指導の工夫</p> <p>③物事を多面的・多角的に考える *二項対立の物事を取り扱うなどして、他者と対話したり、協働したりする活動の確実な設定</p> <p>④自己の生き方についての考え方を深める *自分として考えたことと自己の生き方につなげることを強く意識して指導</p> <p>○指導の効果を高めるために、育成すべき力を確実に理解する ①道徳的な判断力→それの場面において善悪を判断する能力 ②道徳の態度→道徳的価値の大切さを感じ取り、善を行なうことを喜び、悪を憎む感情</p> <p>③道徳的実践意欲→道徳的判断力や道徳的心情を基盤とし道徳的価値を実現しようとする意志の働き</p> <p>④道徳的態度→具体的な道徳的行為への身構え</p> <p>○各内容項目について児童の実態を基に把握し直し、指導上の課題を児童の視点に立つて具体的に捉える。実態に基づく課題に即した指導</p> <p>○「聞く→考える→対話する→気付く→変わる」を意識した授業作り（ハイラル）（考え方、議論する道徳）</p> <p>*自分たちで問題を発見し、考え、対話し、判断し、動く。 *書く活動とふり返りの時間の確定的な設定 *協働的な学習の推進 ・自分として考える ・他者の考えを受け入れ、認める ・多様な見方、考え方へ *支持的風土が大切</p> <p>○指導方法の工夫 *教材提示の仕方 *授業のねらいに深く関わる中心的な発問 *書く活動や伝え合う活動などの言語活動 *思考を促す板書 *心に響く話題</p>			
図工	造形活動を通して、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、豊かな情操を培うことで、道徳性の基盤を養う。	<p>○自己の課題の解決に向けて運動したり、集団で楽しくゲームを行ったりすることを通して、道徴的な判断力や態度を養う。健康・安全についての理解は生活習慣の大切さを知り、自己の生活を見直すことにつながる。</p>			
家庭	日常生活に必要な基礎的な知識や技能を身に付け、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力の育成を通して自分の生活を見直すとともに、家庭における自分の役割を果たそうとする態度を養う。	<p>○具体的な活動や体験を通して、自然との関わりに关心をもつとともに生活上必要な習慣を身に付け、自立し生活を豊かにする基盤を養う。</p>			
体育	自己の課題の解決に向けて運動したり、集団で楽しくゲームを行ったりすることを通して、道徴的な判断力や態度を養う。健康・安全についての理解は生活習慣の大切さを知り、自己の生活を見直すことにつながる。	<p>○言語環境の整備及び充実 ○整理整頓され掃除の行き届いた校舎や教室の整備 ○身近な動植物の飼育栽培 ○掲示物の工夫</p>			
外国語	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーション能力を図ろうとする態度を養う。	<p>○PTA諸活動 ○かどわきっ子の心を見つめる教育週間（道徳科の授業公開） ○学校支援会議 ○学校便りや学級通信などの情報発信 ○図書ボランティアによる朝の読み聞かせ</p>			
環境整備		家庭・地域との連携		豊かな体験活動	
<p>○言語環境の整備及び充実 ○整理整頓され掃除の行き届いた校舎や教室の整備 ○身近な動植物の飼育栽培 ○掲示物の工夫</p>		<p>○PTA諸活動 ○かどわきっ子の心を見つめる教育週間（道徳科の授業公開） ○学校支援会議 ○学校便りや学級通信などの情報発信 ○図書ボランティアによる朝の読み聞かせ</p>		<p>○宿泊体験活動 ○地域の行事への積極的な参加 ○本物との出会い</p>	